

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

遊びを通して楽しみながら、絵合わせパズルや積み木などを使用し、形を認識するだけでなく、手先の器用さや集中力も高め、「かたち」への理解を深めることに期待する。

活動 形

形を模倣、聞き取り、記憶して積むという経験を重ねながら形の変化を楽しむ

環境をデザインする

●準備した物

積み木

探究活動を実践する

●活動内容

いろいろな形に積んでみる

色を知り理解する

●子どもたちの様子

積み木を使って色の名前をたずねると、子どもたちは口々に答えていた。ピンクの日本名を問いかけ「果物の名前でもあるよ」と伝えと、「桃！」と元気に答える子もいた。積み木を見ながら「青の積み木の上は何色？」「赤」「その上は？」「黄色」とやり取りの中で、積み木の並びを理解していた。見本を記憶して積むことにも挑戦し、「うーん、何色だったかな？」と首をかしげながら取り組む姿も見られた。

●振り返りをふまえた気づき

担任より

積み木を手に取り、好きな形を作っていると想像力を膨らまして様々な物に見立てることが出来ていた。指示にしたがって揃んだり並べたりする時は、手本をよく見たり、指示を聞いて理解したりすることが出来る児が多くいた。

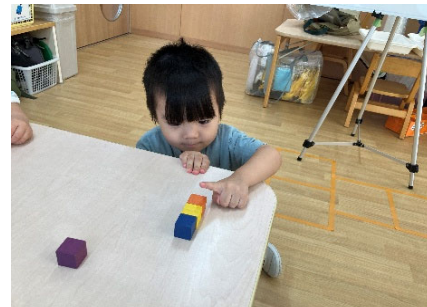
講師より

積み木の色を確かめながら積む中で、子どもたちは色の名前に親しんでいた。積み木の並びをやり取りする中で「上」「下」といった場所の言葉に触れる姿があった。見本を記憶して積もうとする様子からは、考えを巡らせながら挑戦する姿が見られ、探究する意欲が広がっていた。

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年9月11日
時間	30分
参加人数	人



令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

遊びや生活の中で、ものの位置や関係を表す言葉にふれながら、ことばで伝える楽しさを自然に感じていく。友だちと一緒に言葉を交わす中で、自分なりの思いや気づきを言葉にする心地よさを味わい、のびのびとやりとりを広げていく。

活動 位置の言葉の理解

上、下、手前、後ろなど、位置を表す言葉を知り、位置の理解を深めていく

環境をデザインする

●準備した物

積み木

探究活動を実践する

●活動内容

積み木の位置を考える

いろいろな積み方をし、形の違いを経験を通して、位置を理解する

●子どもたちの様子

「赤い積み木はどこ？」とたずねると、「緑の後ろ！」。「緑の上は何色？」と問いかけると「黄色！」と答え、積み木の並びを捉えて発言する姿があった。隠れている積み木を問いかけると「分かるよ！簡単！」と言いながら、見本と同じように作ろうとする姿や、「こうかな？」と友達と相談しながら積み上げる姿も見られた。見本を記憶する際は「緑赤緑赤」と声に出して覚えて取り組み、最後には声を出さずに作ることに挑戦していた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

積み木の並び方を確認し、慎重に並べていく姿が見られた。やり方が分からない時は、友だちの観察しながら行う姿が見られた。慣れてくると左右が合っているか自分で確かめられるようになったり、もっと難しい問題に挑戦したい気持ちを伝えていた。

講師より

積み木の並びを確かめながら積んでみたり、様々な置き方を経験する中で、場所を表す言葉をやり取りに取り入れる姿があった。友達と相談したり、自分なりの覚え方で挑戦する姿も見られ、記憶を頼りに完成させようとする中で探究が深まっていた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

形を組み合わせたり分けたりしながら、新しい形を作り出す楽しさを味わう。図形や立体への関心を深める中で、試したり考えたりすることを楽しみ、安心できるやりとりの中で自分の工夫を表現していく力を育てていく。

活動 図形分割

同じ形、同じ大きさということを考え、折り紙とハサミを使って形が変化する楽しさを体験する

環境をデザインする

●準備した物

おりがみ、はさみ

✓ハサミの扱いに十分注意する

●活動内容

同じ大きさの分け方を考える

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年9月11日
時 間	45 分
参加人数	14 人

●子どもたちの様子

「折り紙を二つの同じ大きさに分けるにはどうする？」と問うと「折る！」と声があった。実際に取り組むと「これで合ってるかな？」と心配そうな姿もあった。全員が長四角に折り、さらに「同じ4つの形に分けるには？」と問うと、真四角に切り分ける姿が見られた。2枚目では三角を4枚に分け、3枚目では「今までと違う形に」と伝え、周りを見ながら長四角4枚や、2枚の長四角から直角三角形を4枚作るなど、それぞれが考えながら切り分ける姿があった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

“1つの折り紙を2つにしよう”という声掛けに最初は戸惑う様子も見られたが、友だちが折っているのを見て真似してみたり、自分なりに考えたりしながら取り組んでいた。はさみの使い方では折り紙に添える手の位置や切り方等、不安のある児がいたが保育者の声掛けで意識する姿も見られた。

講師より

折り紙を使って同じ形・同じ大きさに分ける中で、形が変化していく面白さにふれながら取り組む姿があった。最初は戸惑う様子もあったが、折り方を工夫したり友達のやり方を参考にしたりしながら挑戦していた。思い通りの形に分けられた時には見せ合う姿があり、形の変化を楽しみながら考えを広げていた。